

公益社団法人

日本精神保健福祉士協会 全国大会

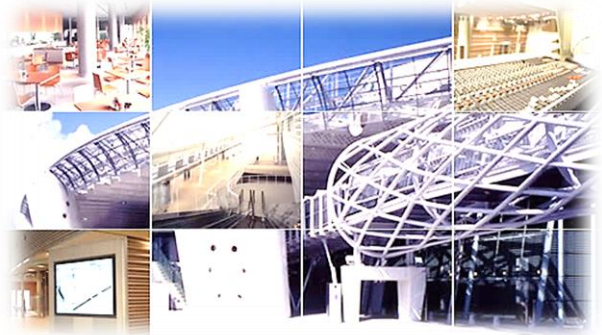
さくらライフ錦糸クリニック 川本 恵 発表

6月25日(木)～27日(土)、福島県群山市にあるビッグパレットふくしまにて、第51回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会、及び第14回日本精神保健福祉士学会学術集会在、「共生・創造・未来 ～はじめよう、ここから!～」というテーマで開催されました。

さくらライフ錦糸クリニックからは川本 恵(精神保健福祉士)が参加し、発表を行いました。

川本は27日(土)の「分科会1-①変わりつつある精神医療と精神保健福祉士の役割」(座長:水野 拓二氏<鷹岡病院/静岡県>、牧野 直樹氏<佐藤病院/山形県>)で、『若手精神保健福祉士がチーム医療の中で力を発揮する為に出来る事』というタイトルでお話しをさせていただきました。

川本はPSWになって5年で、自身のこれまでの経験や体験で、PSW間で愚痴や不満が出て投げやりや諦めの雰囲気になることに対して問題意識を持つ様になりました。チームとしてより良い支援を行う為にも若手もその方法を探らなければと思い、建設的な議論を行うきっかけにしたいと考え本大会に至りました。



公演では「チーム医療とは」、「さくらライフ(現:錦糸)クリニックの取り組み」についてを述べた後、「若手PSWがチーム医療の中で力を発揮する為に出来る事」として、「所属チームを自分で見て聞いて判断しPSWとして意見を述べる自律性を持つ」、「積極的に他職種との連携に向けて行動する」、「職場を越えて課題(≠愚痴)を共有していきたい」と述べ、発表を終えました。



医療法人社団 さくらライフ